

平成29年(2017年)3月10日(金曜日)

# 被災時に職人派遣

## GW三島など協会設立

三島市のグラウンドワーク(GW)三島などは9日までに、一般社団法人「災害復旧職人派遣協会」(山梨県大月市)を設立した。被災地に建築分野の職人を速やかに派遣する仕組みづくりの一環。

三島市のグラウンドワーク(GW)三島などは9日までに、一般社団法人「災害復旧職人派遣協会」(山梨県大月市)を設立した。被災地に建築分野の職人を速やかに派遣する仕組みづくりの一環。

GWによると、被災地にはブルーシートなどの救援資材が全国から届くものの、特に高所作業を必要とする技術者や職人の人材不足が課題。このため修繕が進まず雨などで家屋が傷み、住民が転居する一因になるといいます。

協会設立は大月市の屋根施工会社「日本ステンレス工業」との共同事業。同社の石岡博実会長とGWの渡辺豊博専務理事が復興支援

を行った熊本地震や鳥取地震でも人材不足は見られ、対応策として設立に動いた。

登録を募集する人材は建築関係の経験者で、3日以上支援が可能なお金が条件。1日8千〜1万5千円を支給する。

静岡と山梨それぞれに事務局を構える。静岡の登録目標数は100人。寄付も募っており、当面の目標を100万円としている。

問い合わせはGW三島へ電055(9883)0136へ。

(三島支局・河村英之)